

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 東洋製罐グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5901 URL https://ssl.tskg-hd.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大塚 一男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 浅田 真一郎 TEL 03-4514-2001
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	200,777	△2.2	8,151	△32.6	7,575	△47.1	△5,868	—
2019年3月期第1四半期	205,365	0.4	12,086	△11.6	14,330	△10.0	8,296	△10.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △9,532百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 5,873百万円 (△48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△30.35	—
2019年3月期第1四半期	41.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,054,778	637,814	58.2
2019年3月期	1,068,781	649,812	58.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 614,094百万円 2019年3月期 626,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	410,000	1.3	15,500	△22.9	14,500	△38.3	△1,000	—	△5.17
通期	795,000	0.2	26,500	4.2	23,500	△15.4	5,500	△72.9	28.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	202,862,162株	2019年3月期	202,862,162株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	9,524,433株	2019年3月期	9,524,306株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	193,337,785株	2019年3月期1Q	201,560,371株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調が継続しました。一方、海外の通商問題や金融資本市場の動向などの影響が懸念され、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下におきまして、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。売上高は、電気・電子部品向けの鋼板やプラスチック製品の販売が増加しましたが、包装容器関連機械設備や機能材料などの販売が減少し、2,007億77百万円（前年同期比2.2%減）となりました。利益面では、グループ全体のコスト削減効果などがありましたが、原材料・エネルギー価格の上昇により、営業利益は81億51百万円（前年同期比32.6%減）、経常利益は75億75百万円（前年同期比47.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、独占禁止法関連損失引当金繰入額を計上したことにより、58億68百万円の損失（前年同期は82億96百万円の純利益）となりました。

各セグメントの営業の概況は次のとおりです。

〔包装容器関連事業〕

売上高は1,688億96百万円（前年同期比2.5%減）となり、営業利益は65億91百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

①金属製品の製造販売

金属製品の売上高は前年同期を下回りました。

《国内》

チューハイ向けのアルコール飲料用空缶が増加しましたが、コーヒー向けなどの清涼飲料用空缶・キャップが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

《海外》

タイにおいてビール・清涼飲料向けのキャップが好調に推移したほか、コーヒー向けの飲料用空缶が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

②プラスチック製品の製造販売

プラスチック製品の売上高は前年同期を上回りました。

《国内》

飲料用ペットボトルが前年同期並となりましたが、ドレッシング向けなどのボトルが好調に推移したほか、ゼリー飲料向けのパウチ用キャップや医療食向けなどのパウチが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

《海外》

中国におけるお茶類の受託充填品の増加で飲料用ペットボトルが好調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

③紙製品の製造販売

冷菓向けの紙容器製品が減少しましたが、トイレットペーパー・ティッシュペーパー向けや青果物向けなどの段ボール製品が増加し、売上高は前年同期並となりました。

④ガラス製品の製造販売

ドレッシング向けにおいて他素材への切替があったことなどから、びん製品が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

⑤エアゾール製品・一般充填品の受託製造販売

殺虫剤などのエアゾール製品が減少したほか、消臭芳香剤の一般充填品が低調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

⑥包装容器関連機械設備の製造販売

国内において飲料充填設備の販売が増加しましたが、欧米向けの製缶・製蓋機械などの販売が減少し、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

〔鋼板関連事業〕

売上高は161億54百万円（前年同期比13.9%増）となり、営業利益は1億47百万円（前年同期比63.5%減）となりました。

電気・電子部品向けでは、車載用二次電池向けの電池材が増加し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

自動車・産業機械部品向けでは、駆動系部品材などが減少し、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

建築・家電向けでは、建築資材用途などが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

〔機能材料関連事業〕

売上高は87億72百万円（前年同期比15.1%減）となり、営業利益は1億97百万円（前年同期比79.2%減）となりました。

磁気ディスク用アルミ基板では、サーバー向けのハードディスク用途が減少したことなどにより、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

光学用機能フィルムの売上高は前年同期並となりました。

その他、ほうろう製品向けの塗薬が増加しました。

〔不動産関連事業〕

オフィスビルおよび商業施設等の賃貸につきましては、売上高19億20百万円（前年同期比1.8%減）となり、営業利益は11億89百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

〔その他〕

自動車用プレス金型・機械器具・硬質合金および農業用資材製品などの製造販売、石油製品などの販売および損害保険代理業などにつきましては、売上高は50億33百万円（前年同期比10.3%減）となり、営業利益は3億52百万円（前年同期比398.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1兆547億78百万円となりました。現金及び預金の減少や保有上場有価証券の時価下落による投資有価証券の減少等により前連結会計年度末に比べ140億3百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、4,169億63百万円となりました。独占禁止法関連損失引当金の計上により増加致しましたが、借入金等が減少したことにより前連結会計年度末に比べ20億5百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、6,378億14百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少や保有上場有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末に比べ119億98百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の58.6%から58.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2019年7月2日に公表いたしました「公正取引委員会からの意見聴取通知書の受領および特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり特別損失を計上したほか、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2019年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	141,955	114,653
受取手形及び売掛金	208,021	218,744
電子記録債権	36,694	41,028
商品及び製品	74,866	75,938
仕掛品	16,847	24,144
原材料及び貯蔵品	30,055	29,682
その他	23,275	18,188
貸倒引当金	△2,801	△2,896
流動資産合計	528,914	519,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	111,715	111,540
機械装置及び運搬具（純額）	104,894	108,289
土地	80,829	82,193
建設仮勘定	22,524	20,846
その他（純額）	14,432	14,865
有形固定資産合計	334,396	337,735
無形固定資産	31,313	30,910
投資その他の資産		
投資有価証券	143,522	132,881
長期貸付金	372	286
退職給付に係る資産	11,022	11,725
繰延税金資産	7,375	9,338
その他	12,916	13,460
貸倒引当金	△1,051	△1,046
投資その他の資産合計	174,157	166,646
固定資産合計	539,866	535,292
資産合計	1,068,781	1,054,778

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,695	90,448
短期借入金	94,876	91,650
未払法人税等	6,762	1,549
災害損失引当金	517	457
汚染負荷量賦課金引当金	119	94
独占禁止法関連損失引当金	—	12,014
その他	74,776	67,832
流動負債合計	264,746	264,045
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	65,806	63,365
繰延税金負債	10,385	10,091
特別修繕引当金	4,767	4,946
P C B 対策引当金	374	341
アスベスト対策引当金	155	155
土壌改良費用引当金	324	313
汚染負荷量賦課金引当金	2,609	2,609
役員退職慰労引当金	1,003	935
退職給付に係る負債	53,904	54,927
資産除去債務	1,138	1,140
その他	8,754	9,092
固定負債合計	154,222	152,917
負債合計	418,968	416,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	11,468	11,468
利益剰余金	553,742	545,823
自己株式	△20,002	△20,002
株主資本合計	556,303	548,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,274	54,849
繰延ヘッジ損益	△10	△5
為替換算調整勘定	11,336	13,287
退職給付に係る調整累計額	△2,525	△2,422
その他の包括利益累計額合計	70,074	65,709
非支配株主持分	23,434	23,719
純資産合計	649,812	637,814
負債純資産合計	1,068,781	1,054,778

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
売上高	205,365	200,777
売上原価	171,026	170,944
売上総利益	34,338	29,832
販売費及び一般管理費	22,251	21,680
営業利益	12,086	8,151
営業外収益		
受取利息	138	140
受取配当金	961	830
為替差益	1,486	—
持分法による投資利益	32	—
その他	1,284	1,642
営業外収益合計	3,903	2,612
営業外費用		
支払利息	449	505
固定資産除却損	213	167
為替差損	—	203
持分法による投資損失	—	983
その他	997	1,329
営業外費用合計	1,659	3,189
経常利益	14,330	7,575
特別利益		
移転補償金	—	2,482
特別利益合計	—	2,482
特別損失		
独占禁止法関連損失引当金繰入額	—	12,014
特別損失合計	—	12,014
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	14,330	△1,956
法人税等	4,602	3,405
四半期純利益又は四半期純損失（△）	9,728	△5,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,432	506
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	8,296	△5,868

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,728	△5,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,736	△6,530
繰延ヘッジ損益	△11	5
為替換算調整勘定	△6,491	2,231
退職給付に係る調整額	328	114
持分法適用会社に対する持分相当額	△417	8
その他の包括利益合計	△3,854	△4,170
四半期包括利益	5,873	△9,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,707	△10,233
非支配株主に係る四半期包括利益	1,165	700

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はない。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第606号「顧客との契約から生じる収益」)

米国会計基準を採用している連結子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を当第1四半期連結会計期間より適用している。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識している。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用し、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減している。

この結果、当第1四半期連結会計期間の利益剰余金の期首残高は696百万円減少している。また、当第1四半期連結累計期間の売上高が1,797百万円減少し、税金等調整前四半期純損失が637百万円増加している。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 関連事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	173,276	14,185	10,333	1,955	199,750	5,614	205,365	—	205,365
セグメント間の 内部売上高又は振替高	264	5,585	11	381	6,244	1,807	8,051	△8,051	—
計	173,540	19,771	10,345	2,336	205,994	7,421	213,416	△8,051	205,365
セグメント利益又は損失(△)	9,928	402	949	1,256	12,537	70	12,607	△521	12,086

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△521百万円には、セグメント間取引消去2,593百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,114百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 関連事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	168,896	16,154	8,772	1,920	195,743	5,033	200,777	—	200,777
セグメント間の 内部売上高又は振替高	289	5,885	13	370	6,558	1,771	8,330	△8,330	—
計	169,185	22,039	8,786	2,290	202,302	6,805	209,108	△8,330	200,777
セグメント利益又は損失(△)	6,591	147	197	1,189	8,125	352	8,477	△325	8,151

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去2,673百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,999百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（米国財務会計基準審議会編纂書（ASC）第606号「顧客との契約から生じる収益」）

「会計方針の変更」に記載のとおり、米国会計基準を採用している連結子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を当第1四半期連結会計期間より適用している。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識している。

当該変更により、「包装容器関連事業」において当第1四半期連結累計期間の売上高が1,797百万円減少し、セグメント利益が637百万円減少している。